SHARP

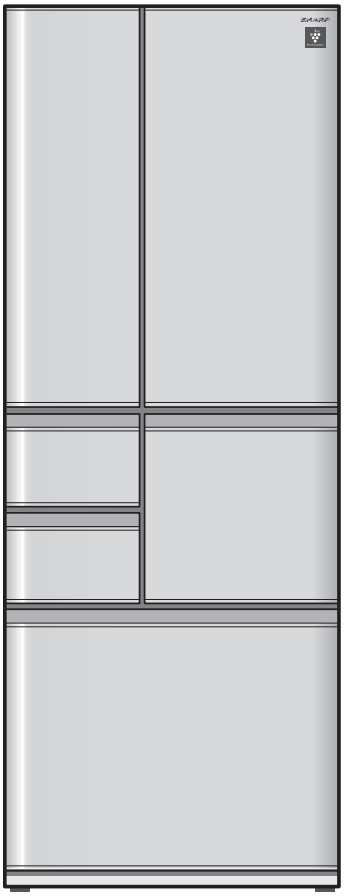
プラズマクラスター 冷蔵庫

取扱説明書 保証書付

冷凍冷蔵庫（家庭用）

形名

SJ-SF50P
SJ-X502P



プラズマクラスターロゴおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterは、シャープ株式会社の登録商標です。

「製品登録」をお願いします

- 家電製品をWEBでまとめて管理できる！
- 登録製品に関する消耗品などサポート情報へ簡単アクセス！
- 当社製品などが当たる抽選応募用「わくわくポイント」を進呈！
- 自動回答に加え会員限定でオペレーターとチャット相談可能！

https://cocoromembers.jp.sharp/m/

もくじ

はじめに

安全上のご注意 …… 2
設置 …… 3
使いはじめ …… 4
使いはじめによくあるご質問 …… 4
食品を入れる …… 5
各部のなまえ …… 6

各機能を使う

いろいろな機能 …… 8
- 節電25
- プラズマクラスター
- 作りおき急冷・おいそぎ冷凍
- 温度調節
- 新鮮冷凍

製氷する …… 11
- 製氷のしくみ
- 使いはじめ
- 製氷する
- 大サイズの氷を作る
- おいそぎ製氷
- 製氷の停止
- 製氷皿清掃

お手入れ

庫内部品のお手入れ …… 14
お手入れ …… 16

必要なとき

故障かな？ …… 17
こんなときは …… 21
- 長時間使わない
- 停電
- 製氷皿を空にする
- 温度微調節をする

引っ越すとき（移動・運搬） …… 21
仕様 …… 22
別売品 …… 22
保証とアフターサービス …… 23
保証書 …… 裏表紙

●この取扱説明書は、SJ-SF50Pで説明しています。SJ-X502Pは一部仕様が異なりますが、使用方法は同じです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

生産管理用コード

安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。

⚠警 告	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
⚠注 意	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。

してはいけないこと。	しなければならないこと。

⚠警告　火災や漏電、感電、大けがを防ぐ

ご使用時は

- ガラス製の部品に衝撃を加えない
  (割れると、けがの原因)
- 冷蔵庫の上に物(とくに重い物や液体を入れた物)をのせない
  (けがの原因。天面カバーが変形すると感電の原因。また液体がこぼれると、感電・火災の原因)
- ドアにのらない、ぶら下がらない、寄りかからない
- 自動製氷機の機械部(貯氷ケース上方)に手を触れない
  (けがの原因)
- 本体や庫内に水をかけない
- 引火しやすい物は入れない
- 可燃性スプレーを近くで使わない
- 庫内では電気製品を使用しない
- 冷却回路(配管)を傷付けない
  また、霜取りをするために機械的な器具やその他の手段を使わない(本機は自動霜取りをします)
  (可燃性冷媒が漏れると発火・爆発の原因)
- 学術試料・薬品を入れない
  (変質のおそれ)
  温度管理の難しいものは保存できません。薬品によっては冷却回路腐食による冷媒漏れの原因となり、発火・爆発のおそれがあります。
- 分解・修理・改造をしない
  部品が破損した状態のまま使用しない
  (けが・感電・火災の原因)
- 都市ガスなどが漏れたら冷蔵庫に触れずに窓を開け換気する
  (引火・爆発の原因)
- 冷却回路を傷付けたときは、火気を避け窓を開けて換気し、販売店に確認する
- 異常や故障時はプラグを抜き、使用を中止する
  <異常・故障例>
  電源コードやプラグが異常に熱い、電源コードに傷や変形がある、ピリピリと電気を感じる、焦げ臭いにおいがする、など。

⚠警告　火災や漏電、感電、大けがを防ぐ

電源や電源プラグ・コードは

- コードを持ってプラグを抜かない
- 冷蔵庫でプラグを壁などに押し付けない
- コードを束ねない・傷付けない
- ぬれた手でプラグを触らない
- 傷んだプラグやコード、差し込みがゆるいコンセントは使わない
- 交流100V・定格15A以上のコンセントを、単独で使う
  (延長コードの使用・タコ足配線は、過熱・ショート・発火の原因)
- コードを下向きにし、プラグを根元まで確実に差し込む
- 定期的にプラグに付いたほこりを、乾いた布で拭き取る

- お手入れ時や長期間使用しないときは、プラグを抜く

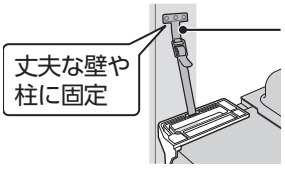
プラグを抜く

廃棄時は

- 廃棄まで保管するときは、ドアパッキンをはずす
  (幼児が閉じ込められるおそれあり)
- 廃棄時は販売店や市町村に引き渡す
  (放置すると冷媒漏れによる発火・爆発の原因)

設置時は

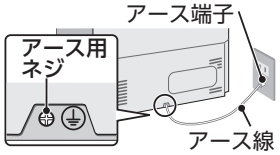
- 屋外や軒下など、水がかかる所に設置しない
  (絶縁が悪くなり、感電・火災の原因)
- 周囲にすき間をあける
  (冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の原因)
- 水平で丈夫な所に調節脚でしっかり固定する
  (不安定な場所は、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れる原因)
- 地震にそなえて転倒防止処置をする



転倒防止ベルトをおすすめします。
▶「別売品」(22ページ)

- 湿気の多い所・水気のある所で使うときは、アース・漏電しゃ断器を取り付ける

アース線接続



- アース線(銅線直径1.6mm)は、お買いあげの販売店などでお買い求めください。
- アース端子がないとき、漏電しゃ断器の取り付けは、お買いあげの販売店、または電気工事店にご依頼ください。
- アース線は、ガス管や水道管には接続しないでください。(爆発や感電の危険あり)

設置

⚠注意　けがを防ぎ、家財などを守る

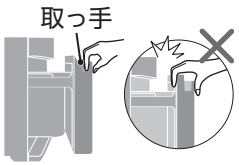
ご使用時は

- ●食品を棚類からはみ出させない、ポケットの底まで入らない食品（ボトル類など）は入れない
  （食品が落下すると、けがの原因）
- ●ビン・缶を冷凍しない
  （中身凍結により破裂したり、周辺部品が破損すると、けがの原因）
- ●冷凍室内の部品・容器（とくに金属製）・食品にぬれた手や体の一部で触れない
  （触れると離れなくなり、凍傷・けがの原因）
- ●異臭がしたり、変色した食品は食べない
  （食中毒や病気の原因）
- ●冷蔵庫の下に手や足を入れない
  （部品に触れてけがのおそれあり）
- ●ガラス棚の取り付け・取りはずしは確実に
  （落とすと割れ・けがの原因）

ドアを開閉するときは

- ●ドアを強く開閉しない
  （引き出し式ドアのはずれや棚の食品の落下でけがの原因）
- ●他の人が触れているときは、ドアを開閉しない
  （指をはさむなどのけがの原因）

- ●下段の引き出し式ドアに足を近づけない
- ●頭をぶつけない
- ●引き出し式ドアの開閉は取っ手を持つ



移動・運搬時は

- ●傷付きやすい床では移動用車輪を使わない
  （床が傷付く原因）
  あらかじめ毛布などを敷いてください。
- ●移動用取っ手を持って、２人以上で運ぶ
  ▶「引っ越すとき（移動・運搬）」（21ページ）
  （持ちかたが悪いと手がすべり、けがの原因）

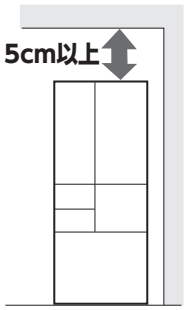
1 設置場所を確認する

- 水平で丈夫な所
- 熱気・湿気の少ない所
- 直射日光の当たらない所（冷却力低下や変色の原因）
- じゅうたん・たたみ・クッションフロアなどには丈夫な板または床保護プレートを敷く。（熱や重みで変形・変色することがあるため）
  ▶「別売品」（22ページ）

ご注意
冷蔵庫の上に物をのせたり、側面の通気口を物でふさがない。放熱がさまたげられ、冷えが悪くなったり、熱で物が変質することがあります。

2 放熱スペースをあける

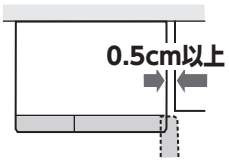
上部：5cm以上



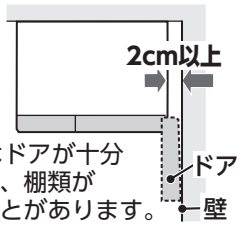
背面は壁に付けられます。

左右側面：

壁がない場合
上から見た図



壁ぎわの場合
上から見た図



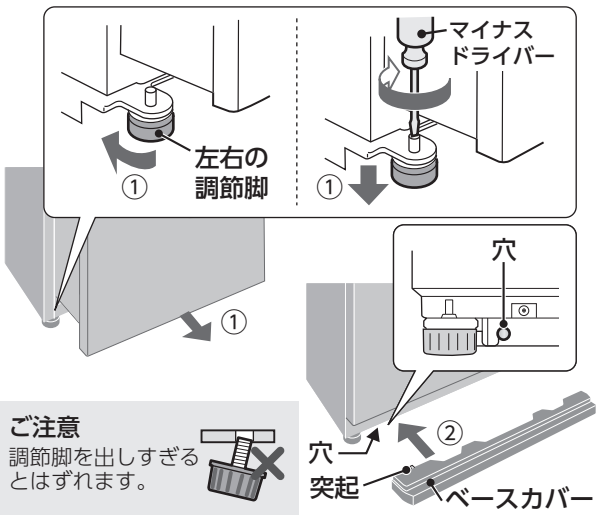
2cm未満ではドアが十分開かないため、棚類がはずせないことがあります。

3 水平に調整・固定する

（振動による騒音防止のため）

① 冷凍室(下)のドアを開け、左右の調節脚を床に付くまで回す。
左右の冷蔵室ドアの高さが水平になるように調節する。マイナスドライバーを使うと軽く回せます。
▶「左右のドアがずれている」（4ページ）

② ベースカバーの突起（左右）を本体の穴（左右）に差し込む。（ベースカバーは冷蔵室内に同梱）



ご注意
調節脚を出しすぎるとはずれます。

使いはじめ

1 庫内を清掃する

かたくしぼった、ふきんで拭く。最後にから拭きをし、水分を取り除く。

2 電源プラグを差し込む

設置後すぐに差し込めます。

3 庫内が冷えたら食品を入れる

お知らせ

- 使いはじめにプラスチックからにおいがする場合があります。念のため、においがこもらないように、部屋の風通しをよくしてください。においはしだいに消えます。
- 放熱による空気の流れや、周囲環境による結露などで、周囲の壁が汚れたり変色することがあります。
- 下水管や浄化槽から発生する硫化ガスの影響で冷蔵庫の配管が腐食することがあります。温泉地域、工業地域周辺も同じです。(これによる故障は保証の対象外となります)

使いはじめに よくあるご質問 Q&A

ホームページでも説明しています

Q 庫内がなかなか冷えない 氷ができない

A ご購入後、電源を入れてからそれぞれ下記の時間がかかります。
(周囲温度によって変わります)

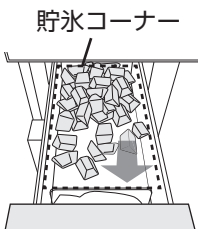
	冷えるまで	氷ができるまで
通常	**約4時間**	**約6 ～ 8時間**
夏場など	**24時間以上**	

できるだけドアを開けずにお待ちください。また、食品は庫内が冷えてから入れてください。(冷やすためにさらに時間がかかり、食品も傷んでしまいます)

庫内が冷えたら、氷を作りはじめます。大サイズの氷を選択したとき、節電25を「入」に設定している場合は、上記よりも時間がかかります。

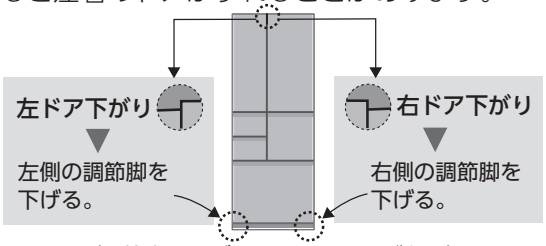
Q 氷の量が増えない

A 氷は平らにならしてください。
氷が奥側にたまると検知レバーが満氷と検知し、貯氷量が少ない状態でも製氷を停止することがあります。
▶「貯氷量」(12ページ)
また、貯氷コーナーに氷以外のものを入れないでください。



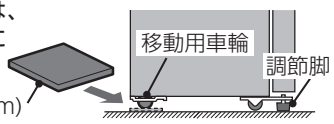
Q 左右のドアがずれている

A 次の方法で調整してください。
床の状態や食品の重みなどで、設置後4 ～ 5日すると左右のドアがずれることがあります。



(調節脚の下げかたは、3ページ参照)

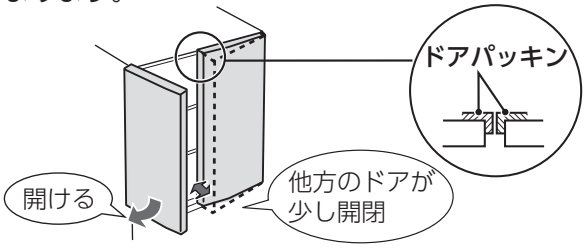
- 上記で改善しないときは、調整した調節脚の後ろにある移動用車輪に板を敷く。



動画で確認できます
ドアの調整のしかた

Q ドアを開けると、他方も少し開く

A 冷蔵室ドア間は、磁石の入ったドアパッキンで密閉されているため、開けたドアに影響されて、他方のドアも少し開くことがありますが、自然に閉まります。



食品を入れる

**冷蔵庫内はときどき点検し、
食品の鮮度が落ちないうちに使いましょう。**

温度は、周囲温度32℃・温度調節「中」・節電25「切」・新鮮冷凍「切」で、
食品を入れずにドアを閉じ、安定したときの目安です。
ご使用時は、ドアの開閉などにより変わります。

冷蔵室ドアポケット(約3 ～ 7℃)
- ドレッシングやスパイス類など

チルドケース(約0 ～ 2℃)
- 発酵食品：納豆やみそなど
- 練製品：かまぼこやちくわなど
- 加工品：ハムやソーセージなど
- 生鮮食品：肉類や魚介類など

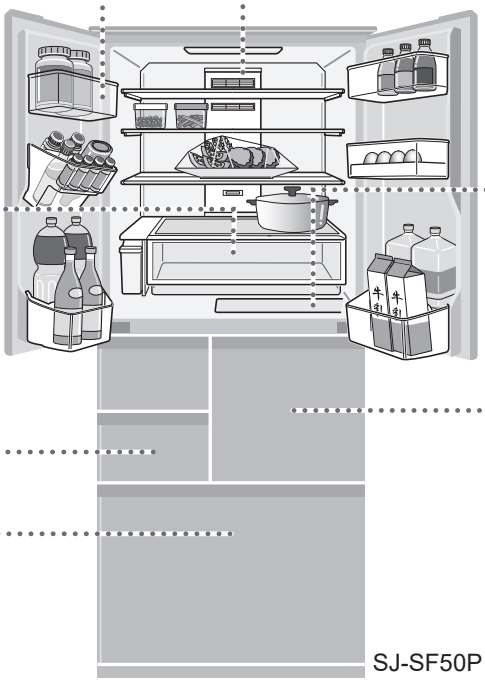
冷凍室(上)(約－19 ～－17℃)
- よく使う冷凍食品
- お茶や乾物

冷凍室(下)(約－20 ～－18℃)

冷凍ケース(上)：
- 袋入りの冷凍食品、ごはん、うどんなど

冷凍ケース(中)：
- ホームフリージングした食品など

冷凍ケース(下)：
- 長期保存する冷凍食品など
  (500mlのペットボトルを立てて収納できます。)
- アイスクリーム
  (夏場などの暑いときは、冷凍室(上)ではやわらかくなることがあります。)



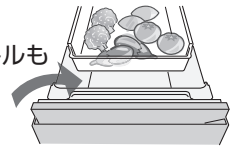
SJ-SF50P

冷蔵室(約2 ～ 5℃)
- 上段は長期ストック場所として、未開封のびん・缶類など
- 卵は、たまご仕切りへ

ユーティリティルーム(約3 ～ 7℃)
- しょうゆ・わさびなどの小袋
- 細いチューブなどの小物

野菜室(約2 ～ 5℃)
- 小物ケースには使い残しや小さめ野菜
- 野菜ケースにはキャベツ、レタスなど中大型野菜

2Lのペットボトルも収納できます。



こんなときはラップを

- 乾燥しやすい野菜や型くずれしやすい野菜。
- 野菜が少ないとき。
- より長持ちさせたいとき。

冷凍には向きません

- マヨネーズ　・かまぼこ
- 寒天菓子
- たまご(錦糸卵や泡立てた卵白なら○)
- 牛乳(ホワイトソースなら○)

冷やさなくてもOK

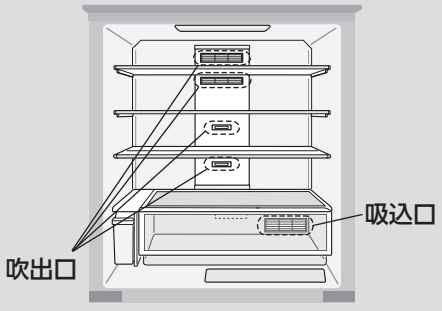
- いも　　・ごぼう
- 玉ねぎ　　・かぼちゃ

風通しのよい日陰に保存ください。

食品収納のお願い

冷蔵室

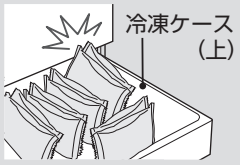
- **吹出口付近に水気の多い食品や卵を入れない。**
  (温度が低く、食品が凍ることがあるため。缶ビール・炭酸飲料などは凍ると破裂するおそれがあります)



- **吹出口や吸込口の前に食品や袋を置かない。**
  (冷気が循環せず、冷えが悪くなるため)
- **ラップなしで水気の多い食品やあたたかい食品を入れない。**
  (庫内に露が付いたり、吹出口が凍ることがあるため)
- **ポケットに食品を投げ入れない。**
  (ひびや割れの原因)

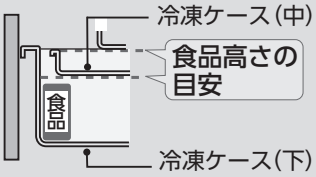
野菜室や冷凍室

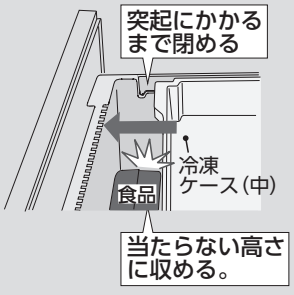
- **食品は、上のケースに触れない高さ、またはケース自体の高さまでを目安に入れる。**
  ドアがきちんと閉まらなかったり、食品がケースから落ちたりすると、冷却不良や霜付き、露付きの原因になります。



- **冷凍室(下)ドアを閉めたときに、冷凍ケース(中)が冷凍ケース(下)の突起にスムーズにかかるように収納する。**
  冷凍ケース(中)が突起にかかるまで閉まらない場合、ドアがわずかに開いた状態になります。(冷却不良、霜付きの原因)

冷凍室断面図

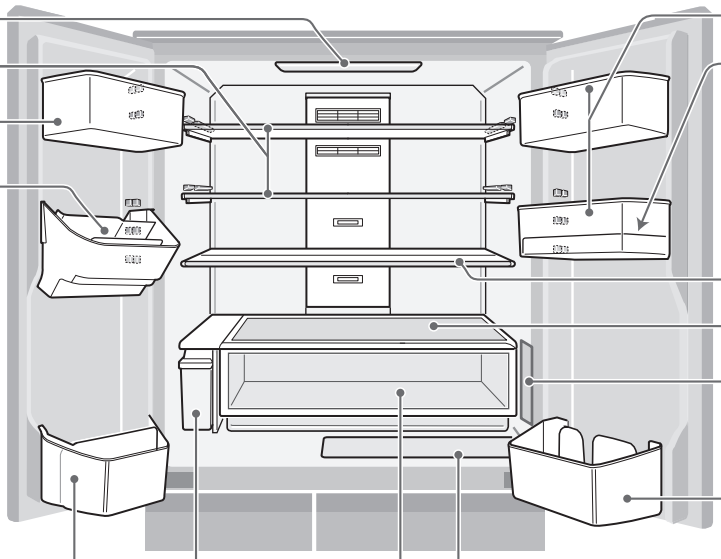


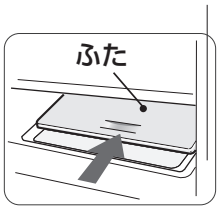


各部のなまえ

食品収納スペースの目安は、
庫内部品を下図のように配置して算出しています。
▶「仕様」(22ページ)

冷蔵室





ご注意
缶などをふたの上に落下させない。ふたが割れることがあります。

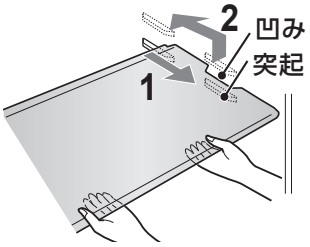
※1　SJ-SF50P：ガラス製
　　SJ-X502P：プラスチック製

棚の付け替え(2段階)

1 半分引き出す
(棚の凹みと壁面の突起を合わせます)

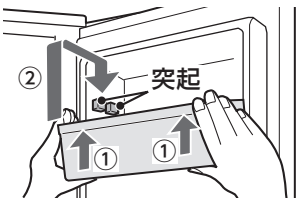
2 上または下に移動し、押し込む

庫外へ棚を取り出す必要はありません。



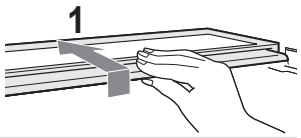
ポケット類の付け替え(上段：2段階、中段：3段階)

1 ポケットを持ち上げてはずし、別の突起にはめ込む
小物ポケット(左)とスパイスポケットは、入れ替えて使えます。(SJ-SF50Pのみ)



折りたたみトレーの使いかた

1 手前を持ち上げながら押す
(背の高い食品が置けます)



ご注意
折りたたんだトレーの奥側だけに食品を置かない。(構造上、トレーが倒れることがあるため)

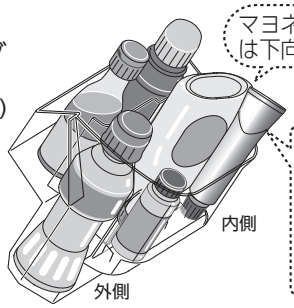
2 さらに倒す
(大きい食品が置けます)

スパイスポケット(SJ-SF50Pのみ)

見やすく取り出しやすい斜め構造で、調味料をスッキリ収納できます。

奥の列
・小さめのドレッシング(150mL程度)
・調味たれ(200g程度)
・粉チーズなど

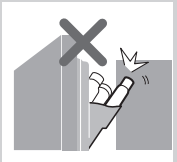
中央の列
・ドレッシング(200mL程度)
・マヨネーズ(500g程度)



手前の列
・スパイス類
・チューブ類

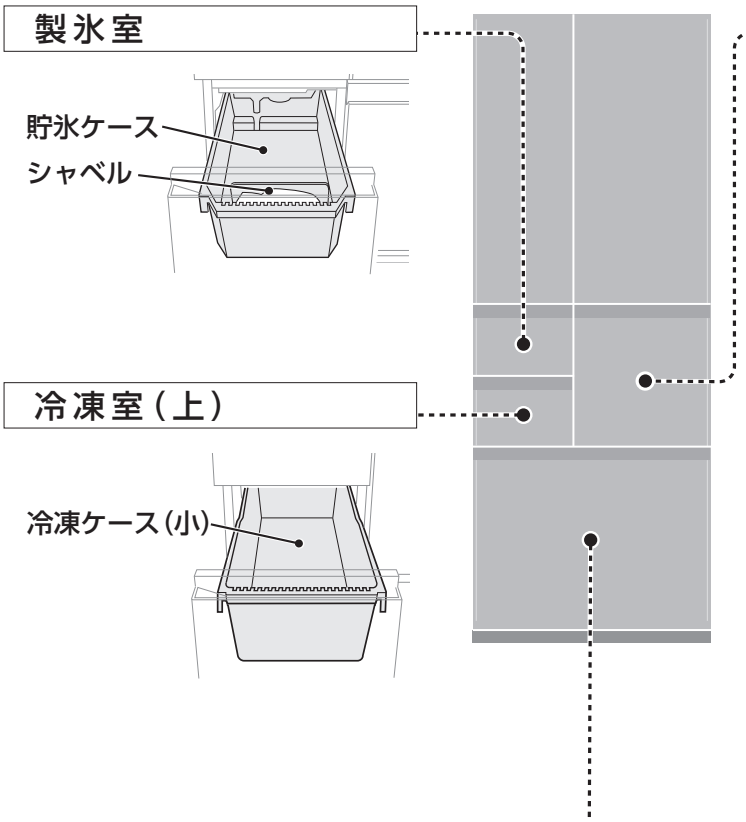
チューブ類の本数が少ないときは内側へ収納してください。倒れて反対側のドアに当たるのを防ぎます。

ご注意



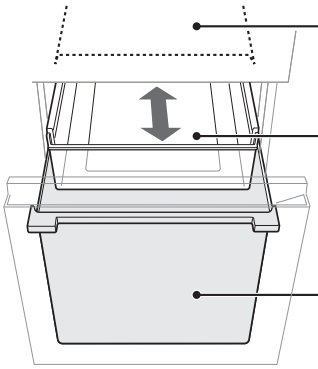
- ドア開閉時に、ドアや棚・庫内天面に当たる背の高い調味料は、他のポケットに移動する。
容量が同じでも入らない調味料もあります。
- 調味料がポケットの底まで入っているか確認する。
不安定になると、調味料が落下する原因になります。
- 調味料を無理に押し込まない。特にガラス製容器は、ポケットのひびや割れの原因になります。

製氷室・冷凍室・野菜室

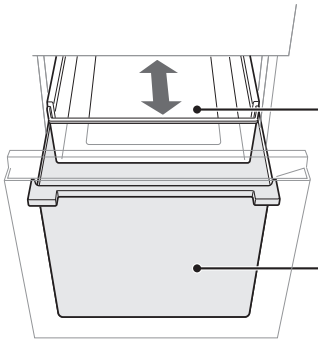


野菜室 (SJ-SF50P) **雪下シャキット野菜室**

本体内側のケースカバー(うるおいガード)が
野菜室の密閉性を高め、乾燥を抑えます。
野菜のみずみずしさが、長持ちします。
さらに、低温コントロール(約2 ～ 5℃)で
野菜の栄養素を守ります。



野菜室 (SJ-X502P)



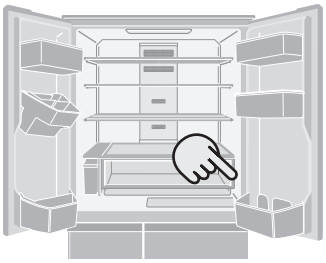
ご注意

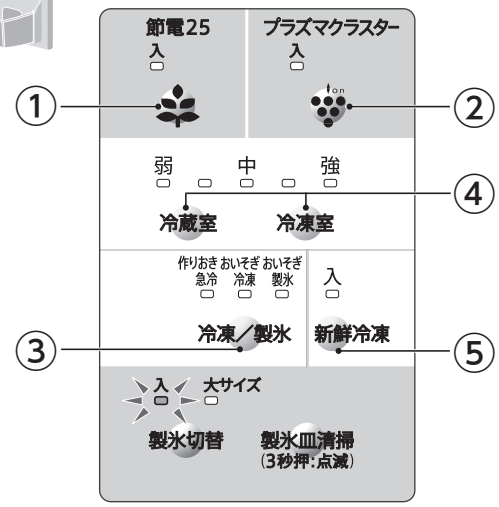
- 小物ケースをはずして使用しない。
  (野菜が乾燥しやすくなるため)

省エネのためのポイント

- 直射日光やガスコンロなどの熱源から遠ざけて！
  冷蔵庫の周囲温度が高くなると、冷えが悪くなります。
- できるだけすき間をあけて設置する！
  すき間が少ないと放熱の効率が悪くなります。
- 食品を詰め込みすぎない！
  冷気の流れが悪くなるので、庫内を十分に冷やすまで
  時間がかかります。
- 入れる食品はよく冷ましてから！
  熱いままでは庫内の温度が上がります。
  (周りの食品温度も上げてしまいます)
- ドアを開けている時間はできるだけ短く！
  開けている間は、庫内の温度が上がりつづけます。

いろいろな機能





• ランプの色：黄緑
（上図はご購入時の状態）

■ドア閉め忘れ防止ブザー
（冷蔵室・製氷室・冷凍室（下））

- ドアを開けていると、1分後と2分後にピピッ（各1回）、3分を過ぎるとピピピッ、ピピピッ、…（繰り返し）と鳴り、お知らせします。ブザーに合わせて庫内灯が点滅します。音量調節・解除はできません。
- わずかなすき間では作動しないことがあります。
- ドアを閉めると止まります。

▶「すべてのドアを閉めても電子音が止まらない」（19ページ）

■脱臭機能

- ナノ低温脱臭触媒が、においを吸着・分解します。
- 冷気の通路にあり、操作・お手入れ・交換は不要です。
（直接冷気が出入りしない野菜室には、脱臭効果は及びません。）

① 節電25

冷蔵庫の使用状況に合わせて節電度合いを自動的に切り替え、最大約25%節電※1します。

- 庫内の温度を少し高めに設定します。
- 長時間ドア開閉がないと製氷を休止し、節電度合いを高めます。ドアを開閉すると、製氷は再開します。

	冷蔵室	冷凍室	自動製氷
通常	約2 ～ 5℃	約－20℃	ー
節電25	約3 ～ 6℃	約－18℃	ドア開閉がないと一時的に休止

温度は、周囲温度35℃・温度調節「中」・新鮮冷凍「切」で、食品を入れずにドアを閉じ、安定したときの目安。

※1 節電率は、上記条件で自動製氷が休止したとき。節電効果は使用環境（温度調節・周囲温度・ドア開閉頻度・食品の量など）により変わります。

1 **「節電25」ボタンを押す**

解除するときは
もう一度ボタンを押す
（ランプ消灯）

お知らせ

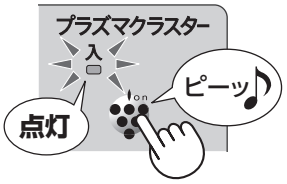
- 冷えがもの足りない、氷ができるのが遅いなどを感じたら解除してください。

② プラズマクラスター

冷蔵室内にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊菌※2や付着菌※3を除菌します。

1 **「プラズマクラスター」ボタンを押す**

解除するときは
もう一度ボタンを押す
（ランプ消灯）



お知らせ

- クリーンな冷気は野菜室を除く全室を循環します。
- プラズマクラスターユニットは、交換の必要がありません。また、市販の脱臭剤と併用できます。

※2 ・試験依頼先:（一財）石川県予防医学協会
・試験方法:エアーサンプラー法（1000Lのボックス内で生菌数を測定）
・試験対象:浮遊した1種類の菌
・除菌方法:プラズマクラスターイオンの放出
・対象場所:冷蔵室内
・試験結果:約73分で除去率99%以上

※3 ・試験依頼先:（一財）石川県予防医学協会
・試験方法:寒天平板培養法（100Lのボックス内で生菌数を測定）
・除菌方法:プラズマクラスターイオンの放出
・対象場所:冷蔵室内
・試験結果:6日間で除去率99%以上

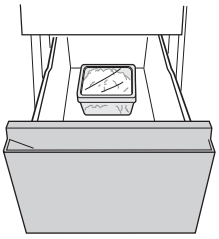
実使用空間での実証結果ではありません。使用環境（庫内の食品の量・置き場所など）により、プラズマクラスターイオン効果が異なることがあります。
また、食中毒などの予防を保証するものではありません。

③ 作りおき急冷・おいそぎ冷凍 (おいそぎ製氷は12ページ)

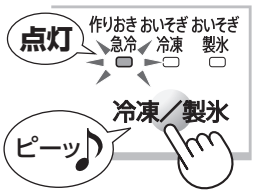
作りおき急冷 (冷凍室(上))

- 約20分間急冷します。あら熱取りや漬け込み料理の下ごしらえに。
- 終了を電子音でお知らせするので、食品の取り出し忘れを防ぐことができます。

1 冷凍室(上)に食品を入れる



2 「冷凍/製氷」ボタンを押して、モードを選ぶ
(ボタンを押したときのランプの変わりかたは下記参照)



自動終了します(終了音が鳴ります)
(通常の冷凍に戻り、ランプは消灯)

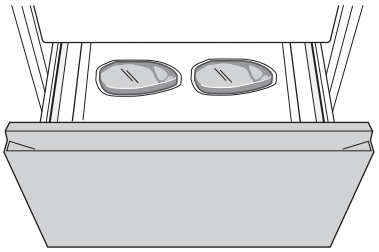
お知らせ

- 終了音は約30秒間鳴ります。冷蔵室ドアを開けると止まります。

おいそぎ冷凍 (冷凍室(下)の冷凍ケース(中))

- 食品のおいしさを逃さないように、すばやく冷凍します。
- 凍結後は、そのまま冷凍保存します。

1 冷凍室(下)の冷凍ケース(中)に食品を入れる



2 「冷凍/製氷」ボタンを押して、モードを選ぶ
(ボタンを押したときのランプの変わりかたは下記参照)

自動終了します
(通常の冷凍に戻り、ランプは消灯)

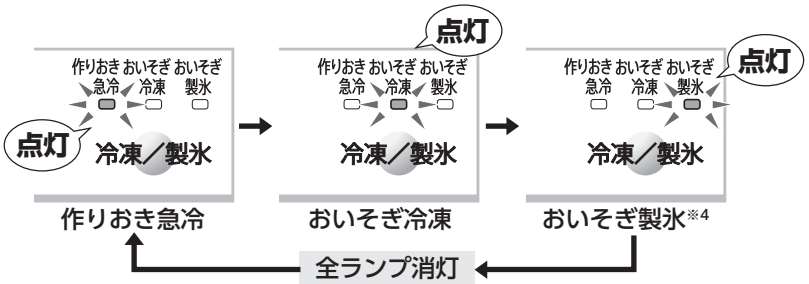
お知らせ

- 約1～4時間で終了。(周囲温度によって変わります)
- 自動霜取り中に設定した場合は、4時間以上かかることがあります。(自動霜取り後に、運転を始めるため)

「冷凍/製氷」ボタンを押すごとに、ランプは次のように変わります。

お知らせ

- 途中で中止する場合は、全ランプが消えるまでくり返しボタンを押してください。
- 作りおき急冷、おいそぎ冷凍、おいそぎ製氷は同時に設定できません。



※4　製氷停止中は、点灯しません。

ご注意

- **あたたかい食品は、他の食品から5cm以上、間をあける。手で持てない温度(60℃以上)の食品を入れない。**
(他の食品を傷めたり、やけどや容器の変形の原因)
- **カレーなど水分の多い食品は密閉容器やポリ袋などに入れるか、容器にふたをする。**ふたをしないで入れたとき、食品の表面が凍結したり、庫内に霜が付くことがあります。
(霜はぬれた布でふいてください)

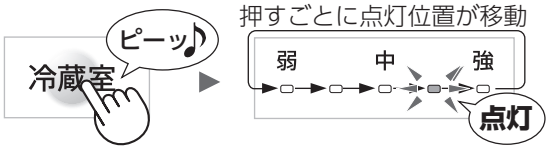
④ 温度調節

• 冷蔵室・冷凍室の温度を調節(5段階)できます。
• ふだんは「中」でお使いください。

冷蔵室の場合

1 「冷蔵室」ボタンを押す
(現在の設定位置が点灯)

2 お好みの位置に合わせる



5秒後ランプ消灯
(設定完了)

冷凍室の場合は「冷凍室」ボタンで設定してください。
(ランプは共通)

	弱	中 (ご購入時)	強
冷蔵室	「中」より 約3 ～ 4℃高め	約2 ～ 5℃	「中」より 約2 ～ 3℃低め
冷凍室	「中」より 約3℃高め	約ー 20℃ ～ー 18℃	「中」より 約3℃低め

周囲温度32℃・節電25「切」・新鮮冷凍「切」で、食品を入れずにドアを閉じ、温度が安定したときの目安。

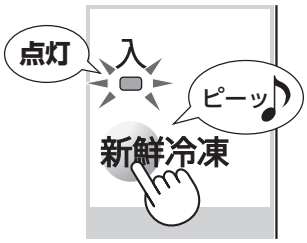
お知らせ

- チルドケース・野菜室の温度は冷蔵室の温度調節に合わせて変わります。
- 製氷室・冷凍室(上)の温度は冷凍室(下)の温度調節に合わせて変わります。

⑤ 新鮮冷凍 冷凍室(下)

• より低温で保存し鮮度やうまみ成分を守ります。
• 自動霜取り運転の直前や、ドア開閉後に急冷して、余分な温度上昇を防ぎます。

1 「新鮮冷凍」ボタンを押す



解除するときは
もう一度ボタンを押す
(ランプ消灯)

	冷凍室(下)
通常(ご購入時)	約ー 20 ～ー 18℃
新鮮冷凍	約ー 23℃

周囲温度32℃・温度調節「中」・節電25「切」で、食品を入れずにドアを閉じ、温度が安定したときの目安。

お知らせ

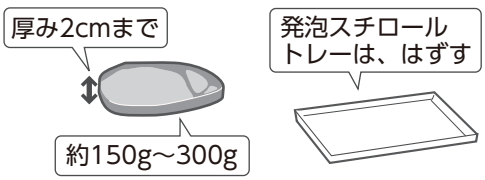
- 設定中は、消費電力量が約10 ～ 30%多くなります。

上手なホームフリージング術

1 食品を凍らせる

生ものは「おいそぎ冷凍」で冷凍してください。
食品中のほとんどの水分は－1℃～－5℃の間に凍ります。
－5℃までをよりすばやく冷やすことが、上手な冷凍のコツです。

- 新鮮な材料を冷凍する。
- 大きさ、厚みをそろえる。
- ラップやポリ袋で密封する。



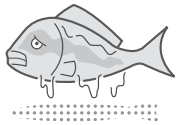
2 「新鮮冷凍」で保存する

- 日付を入れる。
- 保存期間は2カ月を目安に。
(冷凍保存でも食品の品質は低下します。)

3 ゆっくりと解凍する

- チルドケースではゆっくり、電子レンジでは慎重に解凍する。
(とくに生ものは、完全に溶かすとうまみや栄養分が逃げてしまいます。)

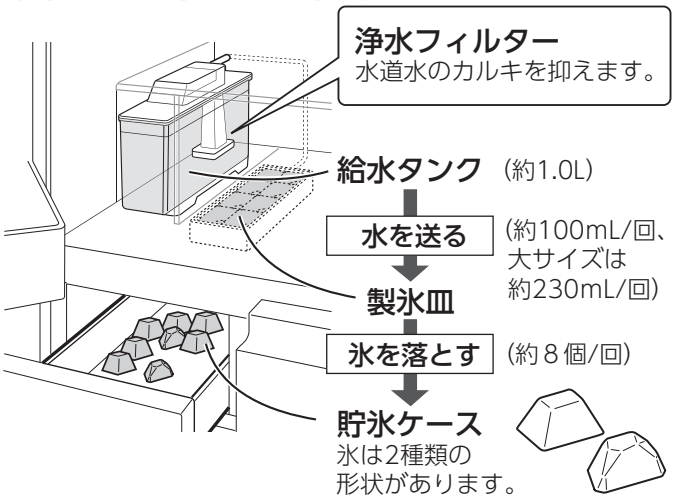
再冷凍は要注意！
完全に溶けてしまった食品は再び冷凍しない。味が落ち、衛生面でもよくありません。



製氷する

製氷のしくみ

• 給水タンクの水を送り、氷を作ります。



使いはじめ

• 給水タンクを水洗いする。
▶「給水タンク」(15ページ)
• 製氷皿清掃をする。
▶「製氷皿清掃」(13ページ)

お知らせ

- ●水道水をおすすめします。
- ●一度沸騰させた水・ミネラルウォーター・井戸水・浄水器の水などを使う場合は、こまめにお手入れしてください。
  (塩素消毒されていないので、雑菌･カビが繁殖しやすいため)
- ●下記のものは使わないでください。
  (製氷不良や故障の原因)

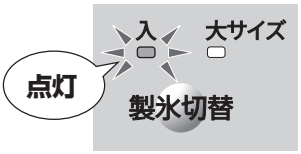
お湯
(60℃以上)

お茶
ジュース
清涼飲料水

製氷する

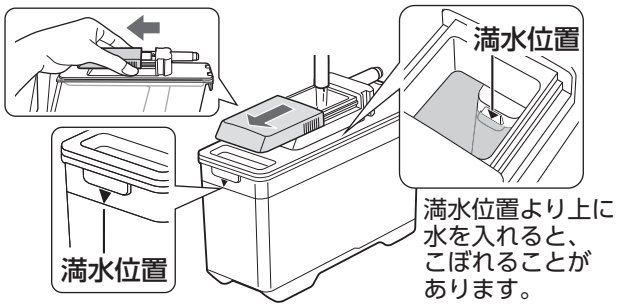
1 「入」が点灯しているか確認する

消灯しているときは、「製氷切替」ボタンを押してください。



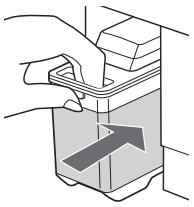
2 給水タンクに水を入れる

水がこぼれないよう、水平に運んでください。
(傾けるとこぼれるため)



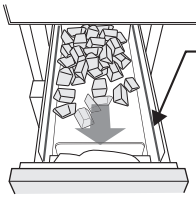
3 奥まで確実に押し込む

自動的に製氷をくり返します。



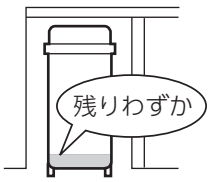
4 氷を平らにならす

氷は奥側に落ちます。
できた氷を平らにならすと、より多くの氷を作ることができます。



5 水を補給する

水は衛生上1週間を目安に入れ換えてください。



■製氷にかかる時間

氷サイズ	1回(約8個)の製氷時間
通常	約2時間
大	約3時間30分

周囲温度32℃・温度調節「中」・節電25「切」・新鮮冷凍「切」で、庫内が十分に冷えた状態でドア開閉なしのときの目安。

■最初の氷ができるまで

通常：　約6 ～ 8時間
夏場など暑いとき：　24時間以上

庫内が冷えてから製氷するため、最初の製氷は時間がかかります。

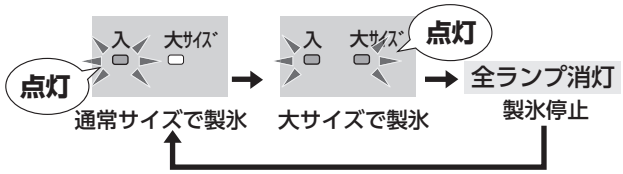
■次のときも、通常より製氷時間が長くなります

- • 食品を多量に入れた
- • ドア開閉が多い
- • 節電25「入」設定中
- • 冬場など室温が低い
- • 自動霜取り中
- • 製氷を再開した直後
- • 夏場など室温が高い

大サイズの氷を作る

1 「製氷切替」ボタンを押して大サイズを選ぶ

ボタンを押すごとにランプは次のように変わります。



お知らせ

- 氷サイズを切り替えても、1回目にできる氷は、切り替え前のサイズです。(設定時に製氷途中の氷が製氷皿に残っているため)設定後2回目にできる氷から切り替え後のサイズになります。
- 給水タンクの水量が少ないと、「大サイズ」設定時でも大サイズにならないことがあります。

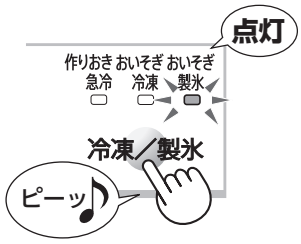
おいそぎ製氷

通常よりも速く製氷します。

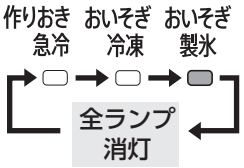
氷サイズ	1回(約8個)の製氷時間
通常	約1時間20分
大	約2時間

周囲温度32℃・温度調節「中」・節電25「切」・新鮮冷凍「切」で、庫内が十分に冷えた状態でドア開閉なしのときの目安。

1 「冷凍/製氷」ボタンを押して「おいそぎ製氷」モードを選ぶ



ボタンを押すごとにランプは次のように変わります。



3回製氷後に自動で終了します。
(通常の製氷に戻ります)

貯氷ケースが満氷のときは、約1時間で戻ります。

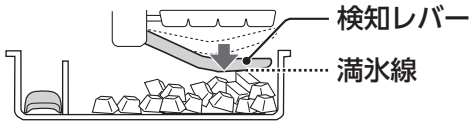
お知らせ

- 製氷停止中は、設定できません。(おいそぎ製氷中に製氷を停止させると、おいそぎ製氷も終了します)
- 途中で中止する場合は、全ランプが消えるまでくり返しボタンを押してください。
- 作りおき急冷、おいそぎ冷凍とは同時に設定できません。
- 製氷時間が上表より長くなることがあります。詳細は「■製氷にかかる時間」(11ページ)をご確認ください。

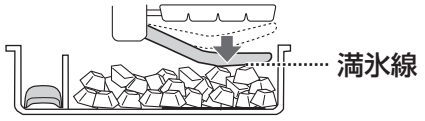
■貯氷量

検知レバーが氷の量を調べます。満氷時は製氷を停止し、氷が少なくなると製氷を再開します。

自然に製氷したとき
約56 ～ 72個(大サイズ時は約32 ～ 48個)



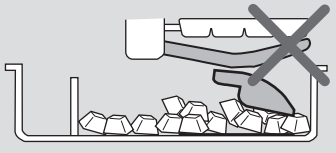
氷をならして製氷を続けたとき
約112 ～ 128個(大サイズ時は約48 ～ 64個)



氷の落ちかたや給水量のばらつきにより個数は変わります。

ご注意

貯氷コーナーにシャベルや食品を入れない。
誤って満氷と検知します。また、ドアが開かなくなったり、検知レバー破損の原因になります。

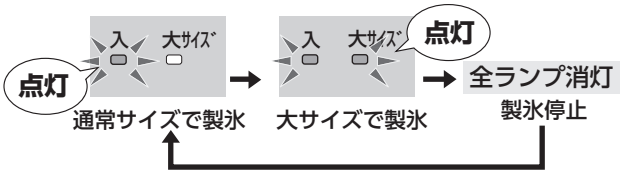


製氷の停止

夜間や冬季、または製氷室に食品を入れるとき。

1 「製氷切替」ボタンを押してランプを消灯させる

ボタンを押すごとにランプは次のように変わります。



長期間停止するときは

- 製氷皿を空にする。(21ページ)
  製氷皿に氷が残っていることがあります。
- 給水タンクを空にして日陰で乾かし、元に戻す。浄水フィルターは水洗いして日陰でよく乾かす。
  十分に乾かさないと、雑菌が繁殖しやすくなります。

製氷を再開するとき

「製氷切替」ボタンを押す

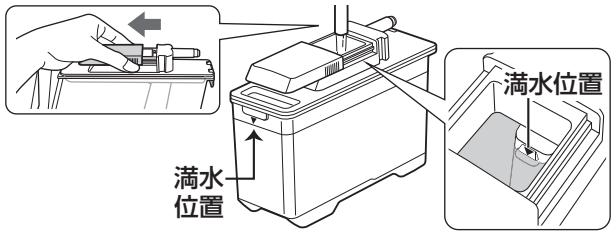
長期間停止していたときは、製氷皿清掃をしてください。(右記)

製氷皿清掃

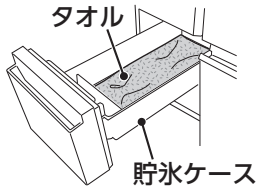
使いはじめや自動製氷をしばらく使用していなかったとき。製氷皿やパイプを水洗いします。
(はずして水洗いできません)

• 準備するもの：タオル1枚

1 水を入れセットする



2 貯氷ケースを空にしてタオルを敷き、製氷室ドアを閉める

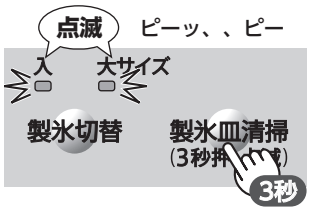


お知らせ

- 清掃後、貯氷ケースに排水されます。
- 1回の清掃での排水量は、設定されている氷のサイズにより異なります。(ご購入時は通常サイズ)
  通常：約100mL　　大：約230mL
- タオルで吸い取らないと、ケースを取り出すときに水がこぼれます。
- タオルは満氷線(11ページ)より高く入れないでください。(動作不良の原因)

3 「製氷皿清掃」ボタンを3秒以上押す

(最初にピーッと鳴るが、2回目のピーが鳴るまで押し続ける)



(約80秒間)給水タンクから製氷皿に給水し、製氷皿から貯氷ケースに排水

ご注意
動作中は、製氷室ドアを開けない。

4 ピーッと鳴りランプが消えたら、ゆっくり製氷室を開ける

貯氷ケースを取り出し、タオルを取り出す

貯氷ケースは、柔らかいスポンジで水洗いし、水気を拭き取って取り付ける。

お知らせ

- 終了後は、元の製氷モードに戻ります。

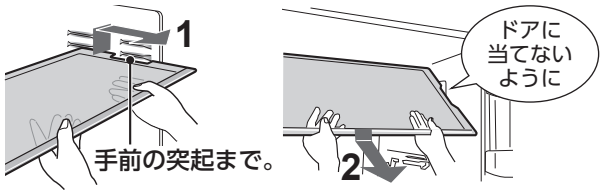
庫内部品のお手入れ

動画 で確認できます
庫内部品のはずしかた・取り付けかた

庫内部品は取りはずして洗う。
▶「お手入れ」(16ページ)

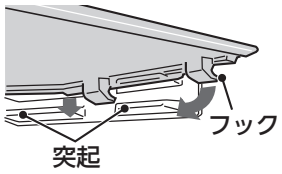
棚 動画

1 手前を持ち上げながら図の位置まで引き出す
2 斜め下方向に倒して取り出す



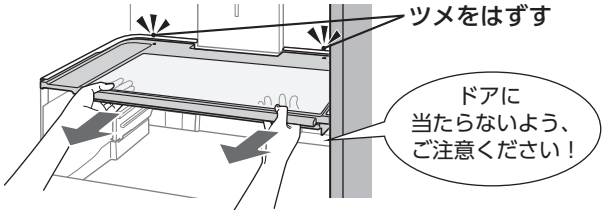
取り付けかた

棚の奥側を突起の上に置き、
フックを手前の突起にはめ
て押し込む
(止まるところまで確実に)

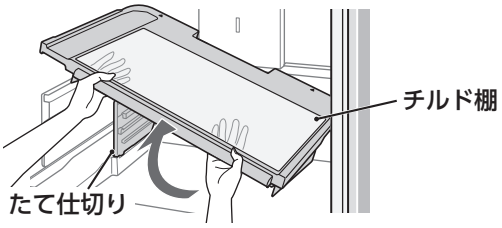


チルド棚とたて仕切り

1 チルド棚を両手で強く引く
(冷えていないときなど、固い場合があります)

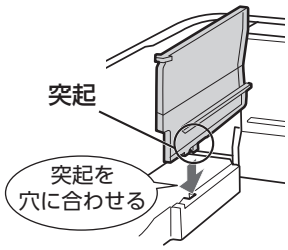


2 チルド棚を取り出して、たて仕切りをはずす

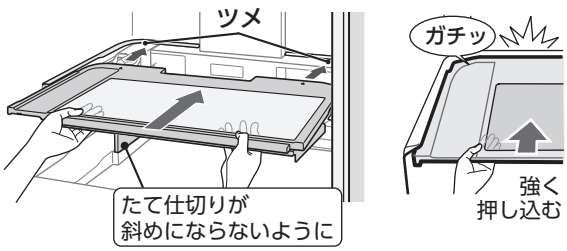


取り付けかた

1 たて仕切りを取り付ける

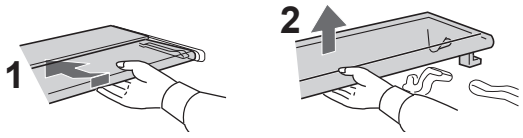


2 チルド棚をガイドに沿って水平に取り付ける
3 奥まで強く押し込み、ツメにはめる

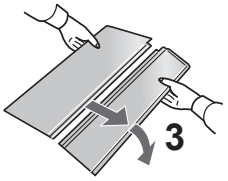


折りたたみトレー 動画

1 手前を少し持ち上げて押し込む
2 持ち上げてはずす



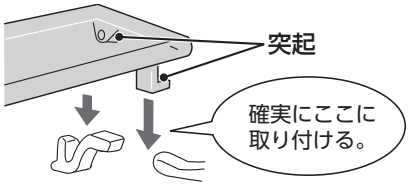
3 2枚の棚をはずす
いっぱいまで引き、
矢印の向きにはずす。



取り付けかた

1 前部分を後部分にはめ込む

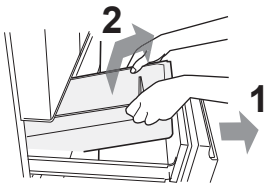
2 左右の突起を図のようにはめる



引き出しケース類

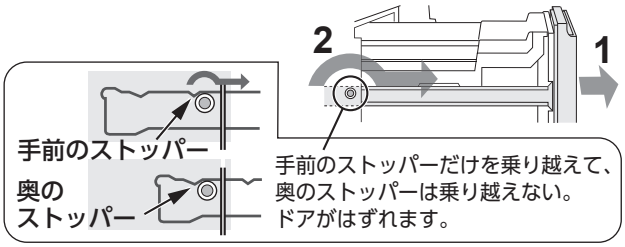
製氷室・冷凍室(上)

1 ドアを引き出す
2 ケースを取り出す
(図は製氷室)

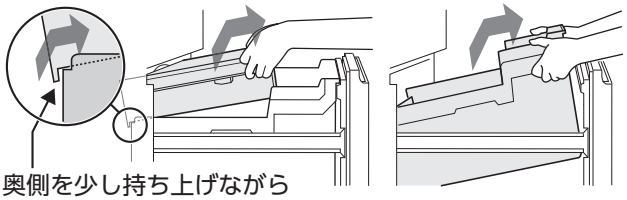


野菜室・冷凍室(下)

1 ドアを引き出す
2 少し持ち上げさらに引き出す



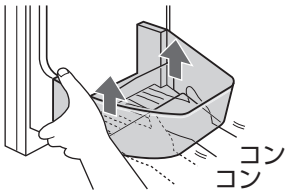
3 ケースを取り出す。(図は野菜室)



ポケット類

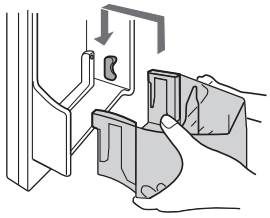
**底面を左右交互に
たたきながら、
持ち上げてはずす**

（ポケットの落下を防ぐため固めに固定しています）



取り付けかた

突起にはめ込む

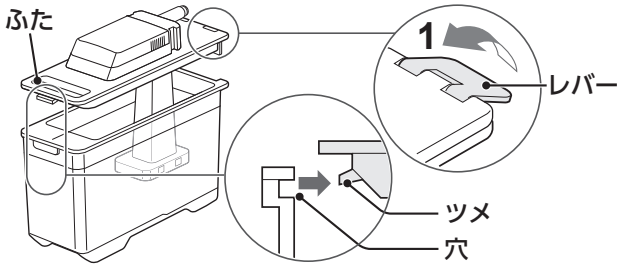


給水タンク 動画

週に1度、水洗いしてください。
（水あかの発生や雑菌の繁殖を抑えるため）

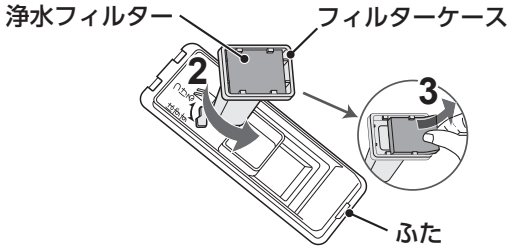
汚れがひどいときは、中性洗剤（食器用洗剤）を使用してください。洗剤はよく洗い流してください。

1 レバーをはずして、ふたをはずす



2 矢印の方向へ回し、フィルターケースを引き抜く

3 浄水フィルターをはずす



浄水フィルターのご注意

- 洗剤や漂白剤を使わない。
  （洗剤や漂白剤がフィルターに付着し、浄水効果がなくなります。）
- 折り曲げたり、棒でつついたりしない。
- もみ洗いしない。

取り付けかた

逆の手順です。

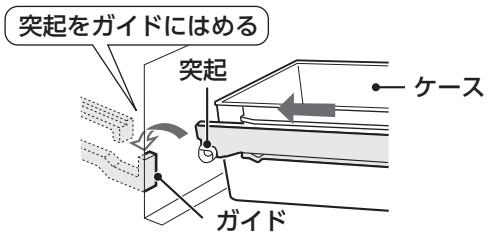
浄水フィルターの交換時期

- 3 ～ 4年を目安に交換をしてください。
  ▶「別売品」（22ページ）
- 破れたり、臭いが気になるときも交換してください。

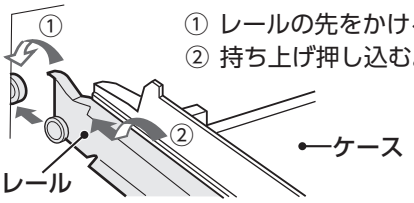
■こんな部品がはずれたら

引き出し式ドア 動画

●冷凍室（上）・製氷室 図は冷凍室（上）

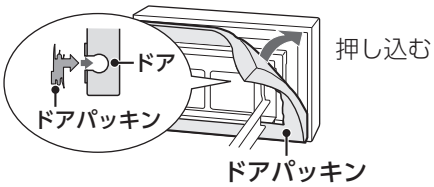


●冷凍室（下）・野菜室 図は冷凍室（下）



パッキン類

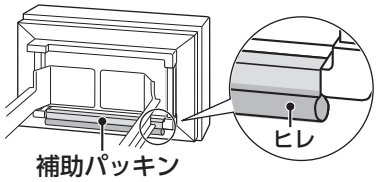
●ドアパッキン（全室） 図は製氷室



●補助パッキン（製氷室、冷凍室（上）（下）のみ）

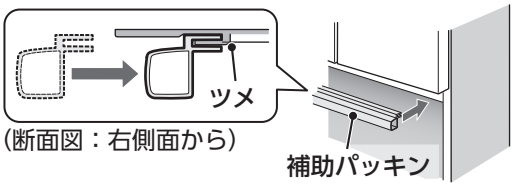
（ドア側）

ヒレを外側にしてはめ込む 図は製氷室



（本体側）

ツメにはめ込む 図は冷凍室（下）



ご注意

- 食品を入れたまま、部品をはずさない。
  （部品や食品を落とすと、けがや部品破損の原因）
- 庫内部品はゆっくりはずし、落としたり強い衝撃を与えたりしない。
  （ひびや割れ、傷の原因）
- ケース類に塗布している潤滑剤（シリコーンオイル）を拭き取らない。
  （滑りをよくするためのものです）

お手入れ

ぬるま湯、またはうすめた中性洗剤(食器用洗剤)を使い、柔らかい布で拭く
●中性洗剤を使ったら必ず水拭きをし、洗剤を拭き取る。さらにから拭きする。

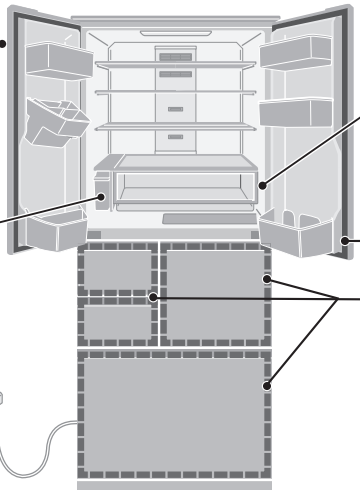
使わないでください。(ドアの表面やプラスチック部品の変色、変形、傷付き、割れの原因)

- アルコール
- 粉石けん
- みがき粉
- たわし
- ナイロンたわし
- 熱湯(60℃以上)
- 有機溶剤(シンナー、ベンジン、シール剥離剤など)
- 弱アルカリ性・アルカリ性の洗剤
- プラスチックを傷めるおそれのあるもの

次のものもプラスチック部品の割れ・変色の原因になります。

- **原液の中性洗剤**
  必ずうすめて使用し、水拭きした後、乾いたふきんで拭き取ってください。
- **付着した食用油・かんきつ類の果汁**
  とくにMCTオイル(中鎖脂肪酸油)は、割れの原因になります。すぐに拭き取ってください。

各部の清掃



ドア表面
汚れが付いたら、
すぐに拭き取る。

操作パネル
から拭きする。

給水タンク

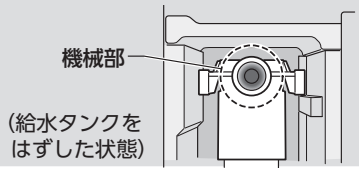
ドアパッキン
汚れやすいのでこまめに
お手入れを。
冷蔵室、野菜室は念入りに。

お手入れ前に抜く
プラグを抜いたら5分間差
し込まない。(故障の原因)

週に1度 (給水タンク)

▶「給水タンク」(15ページ)

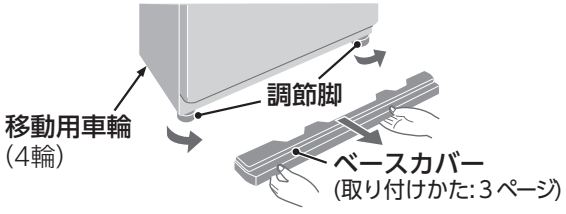
ご注意
給水タンクの奥の機械部を触らない。
(故障の原因)



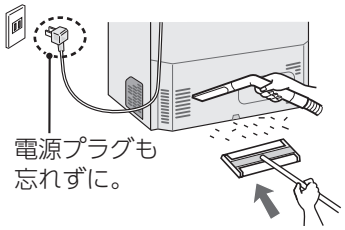
年に1度 (脚まわり・背面・床・壁面)

ほこりや露などで、壁や床などが変色することがあります。

1 調節脚を上げ、冷蔵庫を移動する



2 汚れ、ほこりを取り除く



ご注意
冷蔵庫の下に手を
入れない。

ご注意
- ふきんは、かたくしぼる。(水分がすき間に入り、電気部品の故障の原因)
- ドアまわりに塗布している潤滑油(シリコーンオイル)を拭き取らない。
  (滑りを良くするためのものです)

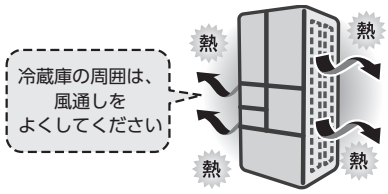
故障かな？

症状別の故障診断や修理時の費用の目安については、「故障診断ナビ」をご活用ください。

以下のような症状は異常ではありません。

気になる音	「バキッ」「ボコッ」やプラスチックのきしみ音	庫内温度の変化による膨張・収縮で発生する音です。床、壁の反響で大き　く聞こえることがあります。
	うなるような機械音（20 ～ 30秒）	自動製氷機が離氷や給水をする音です。給水タンクが空でも音がすることがあります。
	「ゴロゴロ」	氷が落ちる音です。貯氷量が少ないと音は大きくなります。
	「ボコボコ」「ジュッ」「ゴーゴー」など	冷媒(庫内を冷やすために循環しているガス)が流れる音です。「ピチピチ」「カチカチ」「ブーブー」や、水が流れるような音もします。
	「ヒューン」「ウィーン」「ゴロゴロ…」(ファンの音)	ファンやダンパー(冷気量を調節する機器)の動作音です。ドア開閉などで動作が変化したとき、耳障りに感じることがあります。
	大きな運転音「キーン」など	圧縮機や放熱ファンの音です。運転音は、強く冷やすとき(下記)に大きくなります。作りおき急冷・おいそぎ冷凍・おいそぎ製氷・新鮮冷凍中／ドア開閉が多いとき／夏場／設置直後／自動霜取り直後(1日1回程度)　など
	「カッカッカッカッ」「カカカ…」	冷媒の調節バルブの動作音です。電源投入直後や自動霜取り直後(1日1回程度)、圧縮機の起動／停止時に聞こえます。
	こすれ音	ドア開閉時に部品がこすれる音がすることがあります。
その他	冷蔵庫の側面が熱い　***夏場に多い！***	冷蔵庫は庫内を冷やすために側面から熱を外へ逃がしています。側面には熱を逃がすためのパイプが通っており、特に夏場は、長く手を触れることができないくらい熱く(約50 ～ 55℃)なりますが、安全および性能上問題はありません。

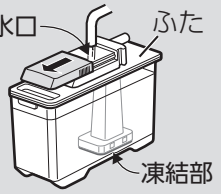
実際の音を確認できます



以下のような症状がある場合は、下記の確認事項および説明をご確認ください。

冷え具合	よく冷えない	設置後、電源を入れてから庫内が冷えるまで時間がかかります。(通常：約４時間、夏場など：24時間以上)	
		温度調節が「弱」になっていませんか？	⇒「中」～「強」にする。 ▶「温度調節」(10ページ)
		節電25を設定していませんか?	⇒節電25を解除する。 ▶「節電25」(8ページ)
		周囲温度が高くありませんか? または冷蔵庫に直接エアコンや温風機の暖気が当たっていませんか？(とくに夏場など周囲温度が高いときは冷却力が低下することがあります。)	⇒熱源から離し、直射日光が当たらない、風通しのよい場所へ設置する。
		冷蔵庫周囲にすき間はありますか?	⇒放熱用のすき間が必要。 ▶「放熱スペースをあける」(3ページ)
		熱い食品を入れていませんか?	⇒冷ましてから入れる。
		食品を詰めすぎたり、冷気の吹出口や吸込口をふさいでいませんか？	⇒吹出口、吸込口の前をあける。 ▶「食品収納のお願い」(5ページ)
		ドアをひんぱんに開けたり長時間開けていませんか?　食品の袋などがはさまって半ドアになっていませんか？	⇒ドアの開閉を減らし、きちんと閉める。
		冷凍室(上)は、冷凍室(下)より約1～3℃高めです。夏場などの暑いときは、アイスクリームが柔らかくなることがあります。アイスクリームは冷凍室(下)に入れてください。	
		野菜室や冷凍室の奥に食品や袋が落ちていませんか？	⇒ケース類をはずし、食品を除く。 ▶「引き出しケース類」(14ページ)
		操作パネルのランプ点灯位置が次々と移動していませんか？	⇒店頭展示用の設定です。解除する。 **解除方法**：冷蔵室と製氷室のドアを開け、「製氷切替」ボタンを5秒以上押す。

冷え具合

「よく冷えない」(17ページの項目)を確認しても冷えが悪いとき	次の操作(強制霜取り運転)をして約1日様子を見てください。 ① 電源を抜き、5分以上待つ。 ② 冷蔵室ドアを開けた状態で電源を入れる。 ③ ドアを閉める。 **ご注意** 強制霜取り運転は約30分～ 1時間で自動終了します。終了後は通常運転になり、約1 ～ 2時間後に元の温度に戻ります。何度もおこなうと、庫内の温度が上昇するため、1日1回までにしてください。
冷蔵室や野菜室の食品が凍る、給水タンクの水が凍る	水気の多い食品を冷蔵室の吹出口近くに置いていませんか? ⇒吹出口から離す。 ▶「食品収納のお願い」(5ページ)
	温度調節が「強」になっていませんか？ (冷凍室が「強」のときも冷蔵室や野菜室が冷えすぎることがあります。) ⇒「中」にする。 ▶「温度調節」(10ページ)
	周囲温度が低い(5℃以下)と、温度調節「弱」でも凍ることがあります。
	給水タンクの水が少ないと、凍ることがあります。 **給水タンクの水が凍ってしまったら** • ふたを無理に開けない。 • 給水口から水を入れ、溶かす。 

露や霜

ドアの合わせ部分に付く	節電25を設定していませんか？ドアに内蔵の結露防止ヒーターを弱めるため、露が付きやすくなります。 ⇒節電25を解除する。 ▶「節電25」(8ページ)
庫内の壁や吹出口周辺に付く	ラップなしで水気の多い食品や、あたたかい食品を入れていませんか？ ⇒ラップする。
	ドアはきちんと閉まっていますか？本体とドアパッキンの間にすき間ができていませんか？ ⇒ドアの開閉を減らし、きちんと閉める。
	梅雨や夏場など高温多湿のときにドア開閉が多くなると付きやすくなります。
冷凍室(上・下)・製氷室ドアの開口部周辺に付く	ドアはきちんと閉まっていますか？本体とドアパッキンの間にすき間ができていませんか？ ⇒次のことを確認する。 ・食品がドアにはさまっていないか。 ・冷凍室の奥に食品が落ちていないか。 ・ケースの上端から食品がはみ出ていないか。
冷凍室ドア表面・冷凍室内の壁・冷凍室ドアのローラーやレール・野菜ケースに付く	露や霜が付きやすい場所です。 次のときにとくに付きやすくなります。 ・ラップなしで水気の多い食品を入れたとき ・多量の葉野菜を入れたとき ・雨の日など湿度が高いとき **ご注意** 露は乾いた布で、霜は湿った布で拭き取ってください。

ドア

ドアの閉まりが悪い	＜冷蔵室＞ ・食品のはみ出しはありませんか？ ・市販の整理ケースやポケットが、棚などに当たっていませんか？ ⇒整理して収納する。 ＜冷凍室・野菜室＞ ・食品のはみ出しはありませんか？ ・食品がケースを押し上げたりしていませんか？ ⇒ケースの高さ以内に収納する。 ・ケースの奥に食品が落ちていませんか？ ⇒ケースをはずして取り除く。 **オートクローズ機構について** ●冷蔵室ドアは、本体に近づくと、自然に閉まる機構になっていますが、わずかに開いた状態からは閉まらないことがあります。手で閉めてください。
ドアの開閉で他のドアが開く	閉めたときの風圧で一瞬開くことがあります。(各室が冷気通路でつながっているため)冷蔵室のドアは、開けたドアに影響されて、他方のドアも少し開くことがあります。
左右のドアがずれている	調節脚で調整する。 ▶「左右のドアがずれている」(4ページ)
ドアを閉めたときの音が大きい	ドアポケットの食品が動く影響で、大きく感じることがあります。とくに反対側のドアを開けた状態で強く閉めると音が響きます。そっと閉めてください。

音

気になる音がする

冷蔵庫に何かが当たり、ひびいていませんか？
床がしっかりしていない所に設置していませんか？
ベースカバーがはずれていませんか？

⇒設置状態を確認する。
▶「設置場所を確認する」(3ページ)

ご注意

17ページの「気になる音」の項目についても、併せてご確認ください。

すべてのドアを閉めても電子音が止まらない

ドア閉め忘れ防止ブザーの故障です。修理を依頼してください。
ブザー故障時は、電子音を一時的に消すことができます。
「冷蔵室」ボタンと「冷凍室」ボタンを同時に3秒以上押す。
(約2日たつと再び鳴り始めます)

操作パネル

ランプの点灯位置が次々と移動している

店頭展示用の設定です。

⇒解除する。
▶「解除方法」(17ページ)

庫内灯が点滅している

電源投入後５分以内の場合は、店頭展示用の設定です。

⇒解除する。
▶「解除方法」(17ページ)

ドア(冷蔵室・製氷室・冷凍室(下))が開いていませんか？

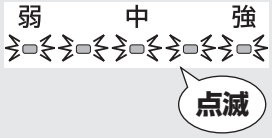
⇒ドア閉め忘れ防止ブザー(8ページ)に同期して点滅します。

作りおき急冷・おいそぎ冷凍・おいそぎ製氷が設定できない

同時に設定できません。

⇒動作中のモードを解除するか、終了するのを待つ。

温度調節ランプが同時に点滅している



放熱用ファンモーター(外からは見えない)の故障です。
・冷却運転は続けますが、冷えが悪くなる場合があります。
・修理が終わるまで、表示は戻りません。
温度調節は可能です。

⇒修理を依頼する。

その他

床がぬれている

冷蔵庫を傾けたり、移動させたりしていませんか？

⇒移動時は、保護シートや毛布などを敷く。
冷蔵庫内部の蒸発皿から水がこぼれることがあります。

庫内のにおいが気になる

においの強い食品をラップしないで入れたり長期間保存していませんか？

⇒ラップ・容器で密封する。次のような食品は密封することをおすすめします。

においが移りやすい	においを移しやすい
・牛乳 ・豆腐　など	・らっきょう ・たくあん ・ぎょうざ　など

ナノ低温脱臭触媒は、すべてのにおいを取り除くことはできません。また野菜室は直接冷気が出入りしないので脱臭しません。

プラズマクラスター運転でオゾンが発生し、においがすることがあります。オゾンの濃度はごくわずかであり、人体に影響のない程度の量です。またすぐに分解するため、充満することはありません。

製氷関連

氷ができない

右記を確認しても製氷しないときは、製氷皿清掃をし、半日様子を見てください。
▶「製氷皿清掃」(13ページ)

設置直後は、庫内が冷えるまでに時間がかかるため、製氷時間が長くなります。
(通常：6 ～ 8時間、夏場など：24時間以上)大サイズ氷を選択したとき、節電25を「入」に設定している場合は、さらに時間がかかります。

給水タンクに水が入っていますか？または給水タンクの水が凍っていませんか？

⇒水を入れる。
▶「製氷する」(11ページ)

給水タンクは奥まで入っていますか？

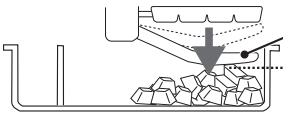
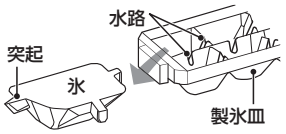
⇒奥まで確実に押し込む。

貯氷ケースに食品やシャベルを入れていませんか?

⇒食品は冷凍室へ移し、シャベルは所定の位置に置く。
▶「貯氷量」(12ページ)

自動製氷が停止していませんか？

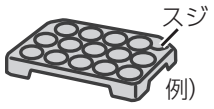
⇒製氷を再開する。
▶「製氷を再開するとき」(13ページ)

製氷関連	氷の量が少ない	氷が貯氷ケースの奥側にたまっていませんか？  ⇒氷を平らにならす。
	氷ができるのが遅い 下記項目もご確認ください。 ▶「よく冷えない」(17ページ)	次の場合は異常ではありません。 ・製氷を再開させた直後　・多量の食品を入れたとき　・室温が低いとき(冬場など) ・室温が高いとき(夏場など)　・ドア開閉が多いとき　・自動霜取り中 ・給水タンクに水を入れた直後
		食品などのはさみ込みで、冷凍室や製氷室のドアが少し開いていませんか？ ⇒食品をきちんと収納して、ドアを確実に閉める。
		節電25を設定していませんか？ ⇒解除する。 ▶「節電25」(8ページ)
	氷がにおう	浄水フィルターが古くありませんか? ⇒浄水フィルターの交換は3 ～ 4年が目安。 ▶「別売品」(22ページ)
		給水タンクの水が古くありませんか? ⇒水の入れ換えは 1 週間が目安。
		給水タンクにお手入れ時の洗剤類が残っていませんか? ⇒洗剤類は、よくすすぐ。洗剤類を使った浄水フィルターは使わない。
	製氷皿清掃できない(排水しない)	給水タンクに水が入っていますか? 給水タンクは奥まで確実に押し込まれていますか？ ⇒清掃は、貯氷ケースを空にして、給水タンクに水を入れておこなう。水が無いと、動作はしますが、排水しません。 ▶「製氷皿清掃」(13ページ)
氷の形・色・白い粉	小さな氷やつながった氷	給水する前後にできることがあります。
		長期間の貯氷で、自然に小さくなったり丸くなったり、くっついたりすることがあります。くっついた氷はシャベルで離してください。
	突起がある氷	製氷皿の水路が残ったもので、氷により、鋭くとがった形をしていることがあります。 ケガを防ぐため、次のことにご注意ください。 ・氷を取り出すときやならすときは、シャベルをご使用ください。 ・口には直接入れないでください。 
	氷のかけら	氷の突起や角が、かけたものです。気に鳴る場合は、シャベルで取り除いてください。
	穴がある氷	氷の中の気泡が集まり、大きくなったものです。
	氷の白い部分や浮遊物・貯氷ケースの白い粉	水に含まれるミネラル成分が、固まったものです。ミネラル成分が多いと発生しやすくなります。(硬度100mg/L以上)水道水も地域によってミネラル成分の量は異なります。 白い粉が気になる場合は、取り除いてください。

これらは異常ではありません

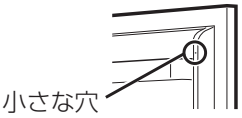
プラスチック部品のひびや傷のようなスジ

樹脂材料の合流箇所や金型の接合部が、傷のように見えることがあります。強度に問題はなく、割れることはありません。



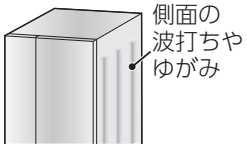
ドア内側や庫内壁の小さな穴

断熱材の充填時に内部の空気を逃すためのものです。各部に数か所ずつあります。



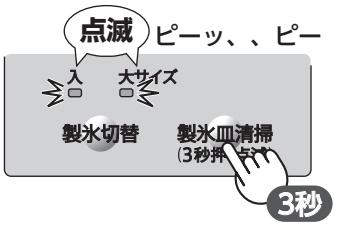
本体側面の波打ちやゆがみ

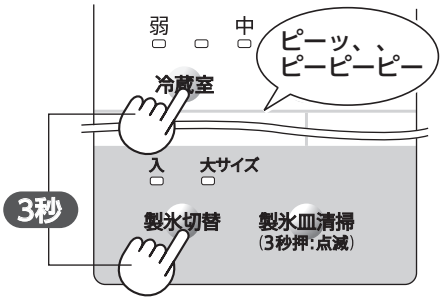
内部に埋め込まれた放熱パイプや断熱材の影響で、側面に波打ちやゆがみが生じることがあります。
照明の当たり方などにより目立つことがあります。



こんなときは

長期間使わない	①製氷皿を空にする。(下記) ②電源プラグを抜き、アース線をはずす。 ③庫内を清掃し、2～3日ドアを開け乾燥させる。(においやカビ・サビを抑えるため)
停電	庫内温度が上がらないよう、食品の追加保存、ドアの開閉を控える。再通電時は設定内容をご確認ください。(作りおき急冷・おいそぎ冷凍・おいそぎ製氷は再設定ください)
製氷皿を空にする (冷蔵庫を移動・運搬するときや、長期間使わないとき)	①給水タンク・貯氷ケースを空にする。 ②貯氷ケースにタオルを敷き、製氷室ドアを閉める。 ③「製氷皿清掃」ボタンを3秒以上押す。 ④約80秒後、ピーッと鳴りランプが消えたら、貯氷ケースの水、または氷を捨てる。
温度微調節をする (冷蔵室／冷凍室(下)の温度を微調節(17段階)したいとき)	冷蔵室の場合 ①「冷蔵室」ボタンを押しながら「製氷切替」ボタンを3秒以上押す。 ・最初にピーッと鳴る。 ・押し続けると、点灯位置が「中」に戻る。 ②「冷蔵室」ボタンでお好みの位置に合わせる。(右表参照) ③5秒後ランプが消灯する。(設定完了) ④解除するときは手順①をもう1度おこなう。 ・冷凍室の場合は、「冷凍室」ボタンで設定する。 ・ランプは共通。





○消灯 ●点灯 ◌点滅

調節位置	弱		中		強
1	●	○	○	○	○
2	◌	●	○	○	○
3	●	●	○	○	○
4	●	◌	○	○	○
5	○	●	○	○	○
6	○	◌	●	○	○
7	○	●	●	○	○
8	○	●	◌	○	○
9	○	○	●	○	○
10	○	○	◌	●	○
11	○	○	●	●	○
12	○	○	●	◌	○
13	○	○	○	●	○
14	○	○	○	◌	●
15	○	○	○	●	●
16	○	○	○	●	◌
17	○	○	○	○	●

お知らせ

- いったん微調節に切り替えると、解除するまで微調節となります。

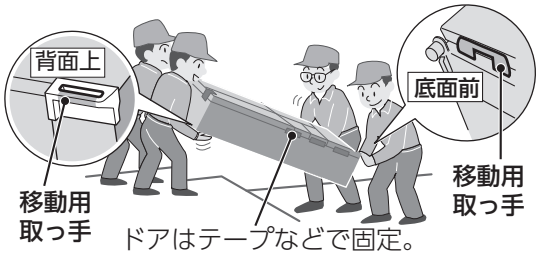
引っ越すとき(移動・運搬)

製氷皿を空にして(上記参照)、電源プラグを抜き、アース線をはずす。

① ベースカバーをはずし、調節脚を上げる。
▶「設置」(3ページ)

② 通路に保護シートや毛布などを敷く。
・床の傷付きを防ぎます。
・冷蔵庫内部の蒸発皿にたまった水がこぼれることがあります。

③ 背面上と底面前の移動用取っ手を持って運ぶ。
・電源は設置後すぐに差し込んでも問題ありません。

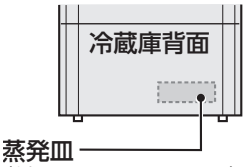


ご注意

- **横積みをしない**
  機械部(圧縮機など)の故障で冷えなくなることがあります。

移動用車輪について

- **フローリングなど柔らかい床の上では使わない。**
  床に傷が付くことがあります。
- **横方向への移動はできません。**



仕様

機種名		SJ-SF50P	SJ-X502P
電源	定格電圧・定格周波数	100V・50/60Hz共用	
電動機の定格消費電力		50/60Hz : 90/90 W	
電熱装置の定格消費電力		171 W	
消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示銘板に表示	
外形寸法※1	幅	685 mm	
	奥行	699 mm	
	高さ	1833 mm	
質量(重量)		92 kg	88 kg
定格内容積※2	全内容積	502 L	
	冷蔵室	259 L〈198 L〉	
	うち、チルドケース	〈18 L〉	
	冷凍室／上(ツースター)	20 L〈11 L〉	
	冷凍室／下(フォースター)	129 L〈86 L〉	
	製氷室(ツースター)	21 L〈6 L〉	
	野菜室	73 L〈49 L〉	

※1 ・調節脚／ハンドルを含まない。(家庭用品品質表示法による)

※2 ・定格内容積はJIS C9801-3:2015 に基づき、庫内の温度制御に必要でない部品(棚やケースなど)をはずした状態で算出してます。
・( ) は消費電力量測定における各室の区分を示します。区分はJIS C 9801-1:2015 および9801-3:2015 に定められています。
・〈 〉は食品収納スペース(貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積) の目安です。JIS C 9801-3:2015 に基づき、庫内部品を取り付けた状態で算出しています。

■冷凍室の性能

日本産業規格(JIS C 9607：2015)の規定による。

	冷凍室(上)・製氷室	冷凍室(下)
性能を表す記号	★★ (ツースター)	★★★ (フォースター)
冷凍室内の負荷(食品)温度	ー 12℃以下	ー 18℃以下
市販冷凍食品の保存期間の目安	約1 ヵ月	約3 ヵ月

■結露防止ヒーター消費電力(W)

結露防止ヒーターは、冷蔵室ドアに内蔵されています。
消費電力は周囲温度・湿度により変わります。

温度 / 相対湿度	16℃	22℃	32℃
0～40%	0.0	0.0	0.0
40～50%	0.0	0.5	0.9
50～60%	0.0	1.0	0.9
60～70%	0.0	1.0	2.3
70～80%	0.5	1.0	2.3
80～90%	0.5	1.0	3.1
90～100%	1.5	2.1	4.8

■取扱説明書について

当商品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan. The manual is in Japanese only.

■自動霜取りについて

冷却器(外からは見えない) に付いた霜は定期的に溶かされ、蒸発皿にたまり、放熱器などの熱で蒸発します。

■再生資源化のため、おもなプラスチック部品に材料名を表示しております。

別売品

お求めはお買いあげの販売店へ(型番・希望小売価格は変わることがあります。お買いあげの販売店でお確かめください。)

	型番	希望小売価格(2025年1月現在)	参 照
転倒防止ベルト(2本セット)	201 939 9339	2,805 円(税込)	2ページ
床保護プレート「しーとこ」(4枚セット)	ST0001	2,673 円(税込)	3ページ
浄水フィルター 3～4年を目安に交換を。	201 337 0093	880 円(税込)	15ページ

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

出張修理

1 以下の内容や「よくあるご質問」をお読みください。
▶「故障かな？」(17ページ)

よくあるご質問

2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。

3 お買いあげの販売店にご連絡ください。

- 保証期間中は、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従い修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは、ご希望により有料で修理いたします。
- 修理料金は、下記内容で構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金。
部品代	修理に使用する部品代金。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金。

保証書(裏表紙)

- 保証期間：お買いあげ日から本体は1年間、密閉機械部分(保証書に記載)は5年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 本品は家庭用冷凍冷蔵庫です。特殊用途に使用した場合や食品以外のものを入れた場合、製品の故障および入れた物品の補償はいたしかねます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は冷凍冷蔵庫の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製品の製造打切後、9年保有しています。

廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの電気冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と、再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村へ適正に引き渡すことが求められています。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・買い替えなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【会員サービス】「COCORO MEMBERS」入会

ご愛用製品を「MY家電登録」いただくと、別売品などのサポート情報が手軽にご利用いただけます。

https://jp.sharp/support/sp/cocoro/cocoro.html

Webサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは

シャープ　お問い合わせ　検索

https://jp.sharp/support/

修理のご依頼、進捗のご確認は

シャープ　修理相談　検索

https://jp.sharp/support/repair.html

使いかた・お手入れなどのご相談窓口

おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間　(年末年始を除く)
●月曜～土曜：**9:00～18:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話からは、フリーダイヤル　**0120 - 078 - 178**

携帯電話からは、ナビダイヤル　**0570 - 550 - 449**

■ フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050 - 3852 - 5405	06 - 6792 - 5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

修理に関するご相談窓口

おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間　(年末年始を除く)
●月曜～土曜：**9:00～20:00**　●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話からは、フリーダイヤル　**0120 - 02 - 4649**

携帯電話からは、ナビダイヤル　**0570 - 550 - 447**

■ フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050 - 3852 - 5520	06 - 6792 - 3221
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。

■ ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報の取扱いの詳細については、https://jp.sharp/privacy/index-j.html をご参照ください。

SHARP

出張修理

冷凍冷蔵庫 保証書

形名		製造番号	
お客様	ふりがな お名前　　様　☎		
	ご住所　〒		
取扱販売店名・住所・電話番号			
保証期間	お買いあげ日 年　月　日より	本体は1年間 ただし、密閉機械部分は5年間	

本書は、記載内容の範囲で無料修理させていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげの年月日、販売店名など記入漏れがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。ご転居、ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、23ページに記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
本書は、再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書やラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書に従い無料修理いたします。
   ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   (イ)本書のご提示がない場合。
   (ロ)本書にお買いあげ年月日･お客様名･販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   (ハ)使用上の誤り、または不当な修理や改造など、取扱説明書やラベルなどの注意書にて弊社が禁止している事項に抵触したことで発生した故障・損傷。
   (ニ)お買いあげ後の、引っ越し等による設置場所の移設、輸送、落下などによる故障・損傷。
   (ホ)火災・公害・異常電圧・定格外の使用電源(電圧、周波数)、および地震・落雷・突風・風水害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)・その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   (ヘ)車輌･船舶等に搭載された場合に生じる故障･損傷。
   (ト)お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷。(例：ホコリ、錆、カビ、小動物の侵入・糞尿)
3. 環境への配慮や修理料金低減のため、修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
4. 製品の状態やその他の事項により、修理に代えて製品交換で対応する場合がありますのでご了承ください。
5. 本書に基づき無料修理(製品交換を含む対応)を行った製品の保証期間は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. お買いあげの製品が故障により使用できなかったことによる損害(食品など)については補償いたしません。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ 5年間保証の密閉機械部分とは、次のものをいいます。
- 放熱器(凝縮器)・圧縮機・毛細管・冷却器・配管。
- 冷気循環用または放熱器冷却用ファンモーター。

★ 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

★ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは23ページをご覧ください。

修理メモ

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

お問合せ先：
固定電話から **0120-078-178**
携帯電話から **0570-550-449**
フリーダイヤル、ナビダイヤルが使用できない場合
050-3852-5405

愛情点検

長期ご使用の場合は冷蔵庫の点検を!
こんな症状はありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- さわるとピリピリ電気を感じる。
- 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店に、ご相談ください。

シャープ株式会社

本社　〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地